

# 平成26年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市藤棚地域ケアプラザ

## 2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

### 地域の現状と課題について

- ① 藤棚商店街の周辺に古くからの住宅地が密集しており、急傾斜の坂道と狭小な道路が多くあります。地域によっては緊急車両の通行が困難な地区も混在しています。高齢化率は25.3%と西区では高い方です。28%を超えている町内会もあります。また、6歳未満の子どもの数は少なくなっており、町内によっては子供会がない地域もあります。
- ② 地域の課題としては自治会の役員の高齢化が顕著で、後継者探しに苦労されている自治会もあります。
- ③ エリアには9つの福祉施設があり、連携をしながら業務を進めていきました。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- ① 建物・空調設備、消防設備等の保守点検を定期的に行い、また日常清掃や消耗品の補充等における日常の管理を通して、ご利用者が安心して、また安全にご利用いただけるよう努めました。
- ② 地域ケアプラザの施設は様々な方が利用されるので、感染症予防のために、毎日トイレ・手摺・ドアノブ等の殺菌消毒を行いました。

### イ 効率的な運営への取組について

- ① 地域ケアプラザの労務、経理などの事務処理に関して、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら事務の効率化に努めました。また送迎車輛リース等の委託業務の選定にあたっては電子入札を実施し経費削減を図りました。
- ② 不要な電気をこまめに消したり、空調を適正温度に設定するなど無駄を省くように努めました。また、徐々にLED電球を導入しました。
- ③ 建物管理や保守に関しては、藤棚地区センターとの複合施設のため共同委託することで、効率よく施設管理を行いました。

#### ウ 苦情受付体制について

- ①法人で苦情解決規則を定めており、それに基づき地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応しました。
- ②法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員会を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組みを行っています。
- ③ケアプラザでは「なんでもご意見箱」と法人のお客様相談室宛の専用ハガキ「お聞かせください」を設置し気軽にご意見がいただけるよう工夫しました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ①緊急時に落ち着いた行動がとれるよう年に2回デイサービスのお客様や貸室ご利用者を含めた避難、消火訓練を行いました。その内1回は藤棚地区センター・藤棚ハイツと合同防災訓練を行いました。
- ②地域ケアプラザは区役所と特別避難場所の協定を結んでいますので、災害時は要援護者の避難場所に指定されます。
- ③地震等の大規模災害発生時にサービスを必要とするお客様に可能な限り対応するため、事業継続計画（BCP）を整備しました。また、訓練を実施するとともに適宜見直しを行い適正な対応に備えています。

#### オ 事故防止への取組について

- ①介護サービスの提供中にヒヤリとしたり、ハッとしたことなどを朝夕のミーティングの場において報告し、職場内で注意を喚起しながら事故の防止に努めました。また所内での会議などにおいても他の事業所での事故の事例や事故防止マニュアルを活用するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理の意識を高めました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ①法人では個人情報保護規程を定め、それぞれのケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。また法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティー研修を職員に受講させ、所内でも個人情報保護研修を行い啓発に努めました。
- ②実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、記録類などは施錠できるロッカーなどで保管することとし、携帯がどうしても必要な場合には、紛失や情報漏えいのないよう最小限の情報のみを携帯するようにしました。
- ③書類の封入時のダブルチェックやファックスで送る場合のマスキング、短縮ダイヤルの設定、ダブルチェックなどを徹底するよう職員に周知徹底を図っています。
- ④デイサービスのご利用者の記録書等の取扱いについては、誤返却防止のために、看護職員、生活相談員、介護スタッフで3段階チェックを行いました。

#### キ 情報公開への取組について

- ①地域ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程にのっとり、積極的に情報を公開する体制を整えました。
- ②ホームページを活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

#### ク 環境等への配慮及び取組について

- ①エネルギー対策、ゴミの減量化など良好な環境の維持のために、節電、節水をこまめに行い、個人情報記載のないコピー用紙の裏面使用を励行しました。横浜市「ごみゼロルート回収」に従い、資源ゴミの分別収集を行いました。
- ②電力消費がピークとなる夏季には「適正冷房・軽装勤務」の実行、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど、地球温暖化防止にも心がけました。
- ③2ヶ月に1回、空気環境測定を行い、室内環境の適正な維持に努めました。外構の環境整備については、地域作業所の活動の場として清掃作業を委託しました。また、低木の剪定についてはボランティアに依頼して行いました。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

- ①地域包括支援センター（看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー）3名
- ②プランナー1名（非常勤）

#### 《目標》

- ①介護予防支援計画の作成にあたっては、お客様の意思及び人格を尊重し、自立に向けて設定された目標を達成するために、お客様及びそのご家族の主体的な参加とともに、適切な保険・医療・福祉サービス及びボランティア団体等との連携を図り総合的なサービス提供の調整に努めました。可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができることを目的とし支援しました。
- ②事業の運営にあたっては公正中立な立場で、多様な総合的なサービス調整をしました。

#### 《実費負担》

原則、ご利用者負担金はありません。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①ご本人の心身能力、生活能力、意欲などを総合的にアセスメントし、意欲を引き出せるよう工夫しました。その際、人から必要とされ生きがいの持てる生活を送れることを目的としてお客様と一緒にケアプランを作成しました。
- ②居宅介護支援事業所に委託する場合も自立支援につながるようケアマネジャーの支援をしました。

#### 《利用者数》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
105	110	106	109	109	109
10月	11月	12月	1月	2月	3月
108	105	109	114	114	118

## 居宅介護支援事業

### 《職員体制》

介護支援専門員	常勤専任	2名
	常勤兼務	1名
	非常勤兼務	1名

### 《目標》

- ①適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるように、公正中立な立場に立ち、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所等の連絡調整を行いました。
- ②事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。
- ③居宅サービス計画の作成にあたっては、お客様の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができることを目標とし、自立支援に繋がるよう支援しました。

### 《実費負担》

- ①お客様から頂く負担金は、償還払いの場合を除きありません。
- ②通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問、出張する必要がある場合に、以下の実費をいただきました。
  - ①公共交通機関を利用の場合、公共交通機関の運賃分
  - ②自動車を利用した場合、プラザより片道6.5km未満は無料とし、6.5km以上は10kmごとに160円

### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザは福祉・保健の活動拠点として、自治会・町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、ボランティア団体など、地域の様々な団体が日頃から地域ケアプラザを利用していただけるように努めています。地域の身近な相談窓口として、誰もが気軽に立ち寄れて、相談できるケアプラザであるよう務めました。

### 《利用者数》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
112	112	115	115	117	117
10月	11月	12月	1月	2月	3月
118	118	119	119	120	120

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ①お客様が自立した日常生活を営むこと及びお客様のご家族の負担を軽減させていただく事を目標にお客様の心身の特性を踏まえ、お体の状況に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、個別機能訓練等を行いました。
- ②事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等と連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担》

・ 1割負担分

(要介護1)	720	円
(要介護2)	847	円
(要介護3)	979	円
(要介護4)	1,110	円
(要介護5)	1,242	円
・ サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	7	円
・ 個別機能訓練	53	円
・ 口腔機能訓練向上加算	159	円
・ 入浴介助	53	円
・ 食費負担	650	円

- ・ 通常のサービス提供の範囲を超える費用・選択サービスメニューは全額負担。
- ・ キャンセル料(前日の営業時間終了までにご連絡がない場合、食材料費450円をいただきました。)

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 8:45 ~ 17:00

《職員体制》

管理者	・・・常勤兼務	1名
生活相談員	・・・常勤兼務	4名
看護職員	・・・非常勤兼務	7名
介護職員	・・・常勤専任	1名
	常勤兼務	4名
	非常勤専任	20名
機能訓練指導員	・・・非常勤兼務	7名
調理員	・・・非常勤専任	6名
運転手	・・・非常勤専任	5名
事務員	・・・常勤兼務	1名
	非常勤専従	1名

《目標》

- ①お客様が自立した日常生活を営むことを目標にご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて通所介護サービスを提供しました。
- ②通所介護計画書の作成にあたっては、個別ニーズを把握しご利用者の意思を尊重し、心身状況・環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営む事ができることを目標としました。
- ③職員の資質向上を図るための研修を定期的に行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①ご本人やご家族が見学を希望される場合には随時対応しました。実際に見ていただいて不安を解消した上でご利用につながるようにお声掛けをしていきました。
- ②厨房で調理した温かくおいしい家庭料理を毎回提供し、季節感のあるメニューをお楽しみいただきました。
- ③おやつはお客様と一緒に作り、嗜好を凝らして楽しんでいただきました。
- ④8：45～17：00の内7時間のご利用をしていただいています。到着した方から順次サービスを開始させていただき、充実したサービス提供を行いました。

《利用者数（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
795	766	770	814	822	806
10月	11月	12月	1月	2月	3月
812	799	756	686	656	732

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ①「介護予防サービス計画（介護予防ケアプラン）」と「介護予防通所介護計画」等に沿って、送迎、入浴及び食事の提供、生活等に関する相談・助言、健康状態の確認やその他お客様に必要な日常生活上の支援並びに機能訓練（日常動作訓練）を行いました。
- ②サービス提供にあたっては、「介護予防通所計画書」等に沿って、お客様ができることはご自分で行いながら、社会的交流を持つことで、潤いを持った生活を楽しんでいただけることを目標にしました。
- ③事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担》

・ 1割負担分

（要支援1） 2, 230 円

（要支援2） 4, 465 円

・ 運動器機能向上加算 238 円

・ 口腔機能向上加算 159 円

・ 複数実施（Ⅰ） 506 円

・ 複数実施（Ⅱ） 738 円

・ 食費負担 650 円

・ 通常のサービス提供の範囲を超える費用・選択サービスメニューは全額負担。

・ キャンセル料（前日の営業時間終了までにご連絡がない場合、食材料費450円をいただきました。）

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 8:45 ~ 17:00

《職員体制》

管理者	・・・常勤兼務	1名
生活相談員	・・・常勤兼務	4名
看護職員	・・・非常勤兼務	7名
介護職員	・・・常勤専任	1名
	常勤兼務	4名
	非常勤専任	20名
機能訓練指導員	・・・非常勤兼務	7名
調理員	・・・非常勤専任	6名
運転手	・・・非常勤専任	5名
事務員	・・・常勤兼務	1名
	非常勤専任	1名

《目標》

ご可能な限り居宅において、要支援状態の維持、もしくは改善を図り、自立した日常生活を営むことができるよう、ご利用者の意欲を喚起しながら支援します。そのために、サービス提供の目標に基づいて「介護予防通所介護計画」等を作成し、サービスの提供を計画的に行いました。



《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①運動機能向上訓練をお客様個々のレベルに合わせて目標設定し、筋力の維持向上に努めました。
- ②通所介護事業と一体的に実施する中で、お客様相互の助け合いや学びあい、役割を持つ活動の中から意欲や楽しみをみつけていただけるように、お客様同士の交流に力を入れて事業を実施しました。

《利用者数（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
107	110	96	109	117	119
10月	11月	12月	1月	2月	3月
113	116	102	93	93	118

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との共通部分

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ①誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、様々な相談に対応しました。相談時間帯には、職員が電話や窓口でのご相談をお受けできるよう相談体制を整えました。ご相談の内容により、関係機関と連絡を取りながら迅速に対応しました。
- ②第3地区の民生委員児童委員協議会の定例会では隔月勉強会をさせていただいたり、シニアクラブ、ボランティアグループの会食等に出向き相談や出前講座などで、参加者一緒に寸劇に取り組むなど、情報提供の工夫を行いました。
- ③子育て支援では、あそびの杜保育園と共催で「ピーナツクラブ」を11回開催し育児に関する様々な悩みや心配ごとの相談に応じ、専門的な相談はあそびの杜の保育士に対応していただきました。
- ④障がい児放課後支援「とんぼ」は16回開催し、事業を通じて保護者が相談、情報提供ができるようお迎え時間を利用して対応しました。また、夏休み・冬休みには自立支援協議会との共催で障がい児余暇支援事業を行いました。「絵の会」では、地域のボランティアの先生に依頼し、ガッツビーとの利用者とその職員に参加していただいています。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ①地域活動交流事業と地域包括支援センターが連携し、共通認識を持ってエリアマネジメントを行い、地域理解やニーズ把握をしました。包括3職種とコーディネーターは地域の会合や食事会、出前講座に、民生委員児童委員の勉強会や障がい者施設との各会議のイベント、プラザ内外で開催された事業など全員で協力し対応しました。
- ②自主事業などに参加されていた方に相談の必要性が生じた時には、コーディネーターから包括職員に繋いで介護保険サービス等を案内したり、介護保険の利用者にも自主事業を案内したり、適切な対応をしています。
- ③所長・地域活動交流コーディネーター・地域包括支援センター職員の会議を月1回以上行い、地域情報を共有や地域ケア会議の進め方の検討行い、情報共有に努めました。

### 3 職員体制・育成

- ①職員は1年間を通して変動はなく、4月着任の職員も地域の行事等に積極的に参加し少しずつ名前を覚えていただけました。
- ②法人内で年間研修計画を作成し、職員は可能な限り研修に参加しています。研修内容としては、新採用時研修、3ヶ月研修、中堅研修、管理職研修など階層別研修や職種別研修を行い参加しました。
- ③法人内で職種ごとの担当者会議を定期的に行い、各ケアプラザで実施している事業の紹介や課題などの情報交換を行い、担当者の専門性や資質の向上を図れるよう切磋琢磨しています。
- ④外部の研修にも積極的に受講し、研修受講後には研修報告書を作成し、所内での伝達・回覧を行って、情報共有を行いました。

#### 4 地域福祉のネットワーク構築

- ①当ケアプラザでは、地域の福祉保健活動団体と連携するために、定期的な会議や行事に参加し、日常的に情報交換を行い、地域のニーズや課題の把握に努め、地域と一緒に課題解決をめざしました。
- ②第3地区懇談会から発展した「第2回ふれあい春まつり」の事務局として成功に貢献するとともに、まつりだけに止まらず、地域防災拠点会議や防災訓練の参加など日常的な顔の見える関係づくりに取り組みました。
- ③第3地区社会福祉協議会の活性化に向け、昨年に引き続き区社協と連携しながら事務局会議等に参加協力させていただきました。
- ④エリア内にある福祉施設9か所と連携し、定期的に会議を開催し、課題を抽出するためにケースの事例検討会を行いました。また今年も9施設合同の福祉フェスタに取り組みました。
- ⑤エリア内のグループホームや小規模多機能の推進会議に出席し、地域密着型サービスとケアプラザの役割を周知しました。
- ⑥個別の地域ケア会議を3回、包括レベルの地域ケア会議を2回開催しました。
- ⑦包括の相談エリアを含む第4地区の地域イベントや会議などにも宮崎地域ケアプラザと連携しながら参加し、地域との関係性を深めました。

#### 5 区行政との協働

西区地域福祉保健計画「にこやかしあわせくらしのまちプラン」の地区懇談会では、地区支援チームとして一緒に活動を行ってきました。第2期計画を振り返り、第3期計画に向けて、支援チームとしてかわりを継続しています。

また、6つの基本目標に添って区や区社会福祉協議会とともに年度当初の計画に沿って事業を実施しました。

<安全が確保され安心なまち>

- ①地域全体でサポートを必要とする人を見守るために、ミニデイサービスや配食サービス、その他ケアプラザの機能を活用して地域の中で支援のネットワークを構築するよう働きかけを行いました。また権利擁護や悪徳商法に対する知識を啓発するミニ講座を行いました。

<活気にあふれ健康なまち>

- ①健康づくりの体操教室や介護予防教室を開催しました。ミニデイサービス「赤い靴」や地域への出前講座などで介護予防に関する地域をお話して啓発活動を行いました。
- ②認知症を地域でも守り支えていくための啓発事業として「認知症サポーター養成講座」をキャラバンメイトと一緒に取り組みました。
- ③顔の見える関係づくりと健康づくりのために浜松町公園で毎週土曜日にラジオ体操を行いました。
- ④藤棚まつりや第3地区ふれあい春まつり、第4地区クリスマスコンサート、福祉フェスタなどで、ボランティアグループと一緒に健康チェックコーナーを開設しました。

<一人ひとりの個性を認め合いみんなが共存するまち>

- ①障がい児の放課後支援事業を月2回開催しました。また小中学生にボランティア体験の場を提供し福祉の理解に努めました。
- ②「生活支援センター西」や「生活創造空間にし」等の福祉施設9館で「福祉フェスタ」を開催しました。

<地域全体がつながりを持つまち>

- ①第2回第3地区ふれあい春まつりを5月18日に開催し800人が参加しました。また地域の様々な団体の参加をいただき、地区センターとの共催で藤棚まつりを5月25日に開催し、多くの団体グループに出店していただきました。その他地域のお祭り「へそまつり」「区民祭り」に参加させていただきました。

<子どもが健やかに成長できるまち>

- ①子育て支援事業として「ピーナツクラブ」を「あそびの杜保育園」との共催で毎月行いました。また、参加の中の希望を生かせるような単発の事業として夏のプールを男性のボランティアにも協力していただき、取り組みました。

<必要な情報が正確に伝わるまち>

- ①情報アドバイザー「e ネットにし探検隊」によるパソコン指導とインターネットの使い方指導を毎週水曜日に開催しました。
- ②地域ケアプラザの広報誌やホームページを活用して、広報誌の掲載や自主事業、福祉保健の情報を毎月発信しました。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ①第3地区では、町内会自治会協議会や民生委員児童委員協議会、第3地区社会福祉協議会事務局会議、高齢者食事会、シニアクラブ、ボランティアグループの配食・会食会等に参加させていただき情報収集及び情報提供を行いました。
- ②第4地区では毎月の地区社会福祉協議会定例会・ふれあい会報告会をはじめ、イベントに参加し、情報提供に努めました。
- ③ホームページを毎月更新しました。広報誌地域版を年4回発行し、包括エリアに回覧板用・掲示版用を配布依頼しました。26年度初めて、プラザで開催している高齢者事業・ボランティア活動の一覧チラシを発行し配布しました。
- ④ボランティアの交流会、貸室の交流会を各年1回実施し、参加者に情報提供をおこないました。
- ⑤利用者アンケートにも取り組み、結果を掲示し、要望には迅速に対応させていただきました。
- ⑥利用者の個人情報保護とサービス向上のため、法人としてマニュアルを作成しました。
- ⑦情報提供用のラックを支援別に分けるなど、来館者にわかりやすく提供できるよう整備し、常に新しい情報を提供しました。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ①利用団体の皆様がお互いに気持ちよく利用でき、また地域で活発に活動していただける様にコーディネートさせていただくために、貸室利用の手引きを更新し、毎月の貸室抽選日に説明させていただきました。また、貸室をはじめ手すり、備品の除菌を毎日行い、感染症予防に努めると同時に調理室の食器を定期的に消毒し、実施状況を調理室内に表示しました。
- ②施設を利用するにあたり、年に1回のアンケートを実施し、受付には「ご意見箱」を設置し、要望・ご意見等には出来るだけ迅速な対応に努めました。
- ③今年度の来館者数の目標を昨年度同様、月平均1,250人としましたが、来所者の平均は、ボランティア活動数を入れると月平均1,500人になりました。
- ④貸室団体間やボランティア個人・グループの連携が図れるよう「貸室団体交流会」「ボランティア交流会」各1回を開催し、団体間のネットワーク構築を支援し、それぞれの団体の活動も活発になるように努めました。

### 3 自主企画事業

- ①地域に住む方々の希望やニーズにこたえ、それぞれの世代や対象者別に参加できる場の提供を年間計画に沿って提供してきました。
- ②高齢者向けの健康づくりとして月2回の「さわやか体操クラブ」には平均12名、居場所づくりとしての月1回「みんなで唄おう」には平均35名、月1回の書道教室「一の会」には平均12名、月1回の県営藤棚団地集会所の「山の上サロン」には平均8名の参加で例年通り開催。認知症高齢者が読みきかせをする会も、園児との交流会という形で継続しました。
- ③毎週土曜日浜松町公園での「みんなの体操」は近隣の方、平均9名の参加でした。
- ④子育て支援事業では、月1回の「ピーナツクラブ」以外でも区の事業への後方支援を行いました。障害児放課後支援事業として月2回「とんぼ」を継続しました。
- ⑤高齢者向け自主事業は、出来るだけ自立を促した結果、自主化したものもありますが、参加者が高齢化してくるため、チラシづくりや当日のお手伝いなど後方支援をしました。
- ⑥地区センターと合同で「藤棚まつり」を5月25日に開催しました。

### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ①現在ボランティア活動をされている方が継続して活動を続けられるように活動時間の相談や調整を行い、個人ボランティアは、月平均118名の方に活動していただきました。また、今年度もヨコハマいきいきポイントの登録を呼びかけ、ボランティア活動を続けることで元気になる高齢者を増やしました。
- ②ニーズに添ったサービスが提供できるようなボランティアグループの立ち上げや既存のグループの継続を支援しました。
- ③ボランティア感謝会を行い、36名が参加し日頃の活動を労うとともに情報交換の場として、活動の広がりが得られる会となりました。
- ④小中学生がボランティア体験を通して福祉の心が育つよう活動の場の提供を支援するため、2つの中学から職業体験の実習生を受け入れました。
- ⑤包括支援センターの人材育成事業と連携し、包括の講座の中で、ボランティア説明会を開催しました。

## 地域包括支援センター

### 1 総合相談・支援

#### 総合相談

- ①H26年度の相談件数については、合計1,126件(相談:953件、訪問:173件)、そのうち新規相談者件数は244件(22%)でした。相談内容では、介護保険(申請含)についての相談が全体の約47%を占めている状況です。家族・本人に次いでサービス事業者や区役所、地域住民(民生委員含)からの相談も増えてきています。また、他機関との連携については、サービス事業者をはじめ、区役所や施設・医療機関が全体の約85%を占めています。
- ②相談内容から、介護保険や認知症、権利擁護に関する相談の増加に伴い、「認知症サポーター養成講座」や「権利擁護」に関する出前講座等を地域、各関係機関に向けて多数行いました。

#### 地域包括支援ネットワークの構築

- ①地域の各関係機関(区役所・西区社会福祉協議会・地域の医療機関・自治会町内会長・民生委員等)を交え、3回の個別レベルの地域ケア会議を実施しました。それぞれの会議にて個別の課題を抽出し、27年1月・3月に包括レベルの地域ケア会議を開催し、延べ35名の参加者を募り、地域の課題について検討しました。
- ②地域の会合や行事等に積極的に参加し、地域の関係機関等と信頼関係を築いています。

#### 実態把握

- ①自治会町内会、民生委員児童委員協議会の勉強会、シニアクラブでのワンポイント講座、地域の祭りなどに参加し、地域の各関係機関と情報の共有化を図り、地域の課題・問題について把握し、課題解決に向けて、各取り組みを行ってきました。
- ②法人オリジナルの地域アセスメントシートを活用し地域の実態把握を行いました。

### 2 権利擁護

#### 権利擁護

- ①7月に「相続・遺言の講座」を開催し、12名の参加がありました。平成27年3月には、昨年度に引き続き、加藤司法書士による「遺言の書き方」講座を開催し、13名の参加があり、参加者には実際に遺言の書き方を体験していただきました。
- ②地域の方には、「出前講座」を行い、オレオレ詐欺防止等の普及啓発を多数行いました。
- ③区役所主催の「高齢者権利擁護サポートネット」に参加し、弁護士・司法書士・社会福祉士等専門家の助言を受け、市民後見人候補者とともに専門的知識や技術を向上させるために、専門機関と連携できる体制作りを行いました(全体会:3回、分科会:3回)。

#### 高齢者虐待

- ① 毎月の定例包括カンファレンスで、虐待ケースについての情報を共有しています。早急に介入が必要なケースについては、区役所等関係機関を交えてのネットワーク会議やカンファレンスを実施し、問題解決に向けて取り組んできました。
- ② 区の社会福祉士会の中でも、比較的若めの擁護者支援について検討・情報共有を図りました。

#### 認知症

- ① 「認知症サポーター養成講座」を「境之谷東部自治会」「一本松小学校」「りそな銀行」にて行い、認知症の正しい理解の促進に努めました。
- ② 包括エリア内で、認知症で介護負担の大きいご家族には、「西区介護者の集い あけぼの会」（区内の介護者支援団体）をご案内し、主催事業「ほのぼの」の中で交流会を行い、「あけぼの会」と連携を図りました。
- ③ 西区 4 包括共催で、「認知症の方と支える家族のための多職種ミーティング」を開催し、事例の検討会を行いました。（年 4 回）

### 3 介護予防マネジメント

#### 二次予防対象者把握

- ① 二次予防事業対象者把握については地域交流事業担当者と連携を図り、事業や出前講座などの機会にて年間 253 枚のチェックリストを行いました。
- ② その内、エリア内対象者中、二次予防事業対象者は 55 人。該当者全員に連絡をとり 12 人の方に介護予防ケアマネジメントを行いました。
- ③ 相談者に対して、状況を確認し、介護予防事業のほうに適している場合はチェックリストを行い、介護予防ケアマネジメントや、事業参加につなげました。
- ④ 他の地域包括支援センターの事業に参加した方のチェックリストを確認して、二次予防事業対象者には連絡をとり事業につなげました。

#### 介護予防ケアマネジメント力

- ① 要支援 1・2 の方には包括 3 職種とプランナー 1 名とで、毎月 110 件前後の介護予防支援を行っています。その内 60 件程度を委託のケアマネジャーに業務委託しており委託ケアマネジャー支援もおこなっています。
- ② 二次予防事業対象者に対する介護予防ケアマネジメントを 12 件おこなっています。なかには申請もせず介護予防ケアマネジメントで頑張っている方も、4～5 名いて、「ずっと面倒をみて欲しい」という言葉もいただいています。
- ③ 介護予防ケアマネジメントでは外出先は介護予防事業だけでなくボランティア活動も提供していて、活動の場をできるだけ提供できるよう開拓、工夫しています。

#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

##### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ①地域の町内会館に出向いたり、老人会の食事会等に参加させていただき、地域住民に対し、保健・医療・福祉分野の専門家を招き「介護予防の啓発」「熱中症予防」「包括支援センターについて」「認知症サポーター養成講座」等の出前講座を行いました。(29回)
- ②第3地区の民生委員児童委員協議会に出向き「地域ケアプラザの役割」「介護保険外のサービスについて」「福祉用具について」の勉強会を行いました。
- ③ケアマネジャーと民生委員の交流会を行い、情報を交換しました。(1回)
- ④西区社協福祉協議会の高齢者分科会に参加し、「介護保険について」の勉強会を2回行いました。

##### 医療・介護の連携推進支援

- ①西区医師会主催の会議・研修に参加し連携の強化に努めました。
- ②日常的に医療機関から退院支援について相談を受け、包括3職種は病院や自宅に訪問し、対象者の身体状況や介護者、住環境等を把握し、ケアマネジャーやサービス事業者につなげるよう調整を行っています。
- ③西区在宅医療相談室と連携を図り、地域で医療の必要な方に対し、スムーズな対応ができました。
- ④西区医師会、西区4包括共催で「認知症のひとと家族を見守る多職種ミーティング」を4回行っています。

##### ケアマネジャー支援

- ①ケアマネジャー同士の連携・交流及びスキルアップを目的に「ケアマネサロン」を7回開催しました。内容は「みまもり家族制度について」「法改正後のサービスの動向」「支援を円滑にするコミュニケーション」「福祉に活かすプレゼンテーション」「事例検討会」「医療との連携」「ケアマネ交流会」です。区との共催でのケアマネサロンでは、東京工芸大学の島先生をお招きし、プレゼンテーションについて講義をしていただき、「実際に役に立つ研修だった」と多くの感想をいただきました。
- ②ケアマネジャーからの声掛けによる担当者会議に出席し、支援困難、緊急対応の支援体制を構築しました。(38回)
- ③ケアマネジャーから相談を受け、必要時には関係機関も参加していただきカンファレンスを行い、情報を共有し問題について検討し、ケアマネジャーの負担感を軽減するよう努めました。(157件)
- ④小規模の居宅介護支援事業所や新人のケアマネジャーを対象に勉強会「ケアマネぶらっと」を開催し、日頃の悩みの解消やケアマネジャー同士の交流を図りました。また民生委員児童委員との交流会も行いました。(年2回)
- ⑤3名の新人ケアマネジャーに対する研修を27年1月に開催しました。



### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ① 医療・区・社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・シニアクラブ・サービス事業所等の多職種の方々を招き、地域における課題抽出と解決を目標とした包括レベルの地域ケア会議を開催しました。(1回)
- ② ケアマネジャーを中心とし、個別ケース事例を多職種で検討し地域課題に結び付けました。(3回)
- ③ シニアクラブ、ふれあい会、民生委員児童委員協議会等に積極的に出前講座を行いました。(29回)
- ④ 法人オリジナルの地域アセスメントシートを活用し第3地区の地域分析を行いました。

## 介護予防事業

### 介護予防事業

- ① 介護予防普及強化業務は「心も身体も健康に生きるための講座」を年10回予定で開催しました。毎回30人～37人の参加で盛況でした。
- ② 介護予防推進事業では「にこにこキラキラ」全3回、「聞き上手は・お・も・て・な・し講座」全2回開催、毎回30人前後の参加がありました。
- ③ 介護予防推進事業参加者から、数名ボランティアグループに入ってくださいました。また昨年からお手伝いをいただいていた方や介護予防ケアマネジメント卒業生などのメンバーで4月からボランティアグループ「キラキラ会」を立ちあげ、介護予防事業の運営補佐や健康チェックなど年間25回活動していただきました。
- ④ 「にこにこ会」「藤棚ハイツ体操クラブ」もそれぞれ自主的に活動をはじめていますが、現在、後方支援は継続し、地域の方の受け皿やボランティアの育成の場としています。また、それらの活動を地域の方々に紹介することにより、自主化を検討しはじめた自治会も3か所あり、地域活動支援をはじめています。

## その他

- ① 久保1町内会体操教室は前年度より引き続き、久保町エリアの介護予防の拠点となるよう、働きかけており現在、核となる方と一緒に毎月一回の体操教室の試行をはじめています。

# 平成26年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：藤棚地域ケアプラザ

平成26年4月1日～平成27年3月31日  
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料等収入	19,457	23,452	2,287				
	介護保険収入				6,122	20,708	94,806	9,857
	その他							
	認定調査					291		
	その他	269	1			22	746	
	収入合計(A)	19,726	23,453	2,287	6,122	21,021	95,552	9,857
支出	人件費	12,477	24,339	2,019	2,480	19,880		72,503
	事務費	3,144	1,767	268		1,464		15,010
	事業費							
	管理費	5,383	1,432			17		7,895
	その他							
	施設使用料相当額							2,750
	居介支委託分				3,281			
	他会計区分繰入							1,908
支出合計(B)	21,004	27,538	2,287	5,761	21,361		100,066	
収支 (A) - (B)	-1,278	-4,085	0	361	-340		5,343	

## 平成26年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
障がい児放課後支援「とんぼ」	中・高生	40,324	29,024	11,300	0	40,324	0
	110人						
	100円						
eネットにし探検隊	地域住民	8,715	8,715	0	0	8,715	0
	60人						
	なし						
山のうえサロン	地域住民	36,331	29,221	7,110	12,243	6,088	18,000
	90人						
	100円						
みんなで唄おう	地域住民	49,545	11,615	39,000	42,864	6,681	0
	399人						
	100円						
さわやか体操クラブ	地域住民	92,216	45,016	52,300	96,232	0	0
	344人						
	月200円						
ピーナッツクラブ	未就園児の親子	28,418	28,418	0	25,591	2,827	0
	333人						
	なし						
一の会	地域住民	42,960	21,960	21,000	42,096	864	0
	80人						
	月200円						
絵の会	地域住民	500	500	0	0	500	0
	61人						
	なし						
みんなで体操	地域住民	8,369	8,369	0	0	8,369	
	429人						
	なし						
男性介護者の集い	西区内の男性	2,577	2,577	0	0	2,577	0
	14人						
	なし						
くるみ「遊びの社交交流会」	地域住民	798	548	250	0	798	0
	91人						
	実費						

事業ごとに報告書単表に内容を記載してください。

## 平成26年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象 ②延べ参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ケアプラザ祭(藤棚まつり)	地域住民	189,637	157,137	23,500	0	13,006	176,631
	3000人						
	実費						
第3地区ふれあい 春まつり	地域住民	1,000	1,000	0	0		1,000
	600人						
	なし						
ベビーマッサージ	生後2～6ヶ月の親子	22,274	22,274	0	22,274	0	0
	27人						
	なし						
藤棚コンサート	地域住民	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	31人						
	なし						
夏の余暇活動	中・高校生	44,674	40,674	4,000	0	44,674	0
	27人						
	500円						
みんなで焼き芋を食べよう	地域住民	6,372	6,372	0	0	6,372	0
	24人						
	なし						
男性のための パンづくり教室	男性	15,951	14,751	1,200	11,137	4,814	0
	6人						
	300円						
男性のための和菓子 づくり教室	男性	7,755	10,455	2,700		7,755	0
	9人						
	300円						
第3地区 福祉フェスタ	地域住民	1,900	1,900	0	0	0	1,900
	400人						
	実費						
冬余暇 「お餅つき」	地域住民	6,402	6,402	0	0		6,402
	60人						
	なし						
貸室懇談会	貸室登録団体	11,967	11,967	0	0	11,967	0
	29人						
	なし						
藤棚交流会	ボランティア	29,753	29,753	0	0	29,753	0
	36人						
	なし						

事業ごとに報告書単表に内容を記載してください。

# 平成26年度 自主事業報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児放課後支援「とんぼ」	障がいのある中学生を対象とした放課後の居場所支援。毎月違う内容のレクリエーションを実施。ベ이스ターズ観戦も親子で参加しました。	毎月第2・4火曜日 全19回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みつわの会	月3回 ボランティアグループによる配食サービスを行いました。	毎月第2・4火曜日 全25回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
情報アドバイザー「eネットにし探検隊」	西区情報活動拠点の場として、毎週パソコン操作指導を行いました。	毎週水曜日 全61回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
山のうえサロン	山のうえの町内会館に出向き、体操・情報提供・情報交換を行いました。	毎月第2木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで唄おう！	アコーディオンの伴奏に合わせてみんなで唄う会です。閉じこもり予防・仲間づくりのお手伝いをしました。	毎月第2土曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さわやか体操クラブ	転倒骨折・閉じこもり予防・仲間づくりの体操教室を行いました。	毎月第2・4日曜日 全23回

## 平成26年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピーナツクラブ	親子支援。毎月違う内容の事業を行い沢山の親子の方楽しんでいただきました。保育所子育てひろば私立常設園「あそびの杜保育園」の協力で開催しました。	毎月第3木曜日 (8月は、不定期) 全14回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
作味会	男性が料理を通して仲間づくり、居場所づくりを行いました。	毎月第1木曜日 全10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
一の会	書道教室の会です。心を静め書に向かいます。閉じこもり予防・仲間づくりのお手伝いをしました。	毎月第4月曜日 全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
藤棚まつり	地域の人たちにケアプラザを知ってもらえる様に地区センターと合同で開催しました。	5月第4日曜日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵の会	障害児者をはじめ地域の人が誰でも参加できる居場所として開催されました。	毎月第木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くるみ「遊びの杜交流会」	デイサービスにて近隣保育園との交流会を行いました。	毎月第2木曜日 全9回

## 平成26年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで体操	町内会の公園に出向き、顔の見える関係づくり・情報提供場としてラジオ体操を行い体力づくりにも努めました。	毎週土曜日 全44回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性介護者の集い	西区介護者の集い「あけぼの会」の協力を得ながら男性介護者を対象に悩みや相談を伺いました。	全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第3地区ふれあい春まつり	第3地区の人が集う場、顔の見える関係づくりの構築のため、第2回目が開催されました。	5月第3日曜日 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
チューリップ体操IN地区センター	健康増進のお手伝いとして、職員が地区センターに出張しました。	毎週月・金曜日 全85回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
赤い靴	高齢者支援として、ボランティアグループが毎月1回サロンの開催と夕食の配達を行いました。	毎月第4土曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚茶房	高齢者支援として、ボランティアグループが毎月1回サロンの開催と夕食の配達を行いました。	毎月第4土曜日 全12回

## 平成26年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おまつりでフラ	25年度に開催されたフラダンス教室の参加者が藤棚まつりで発表しました。	5月25日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベビーマッサージ	赤ちゃんとお母さんのスキンシップをおこないました。	9月26日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚コンサート	女性1名男性4名のコーラスグループの方が地域の方たちと一緒に唄い素敵な歌を披露して下さいました。	全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏の余暇活動	学校や家庭以外の方と夏休みに楽しく過ごしてもらえる様に今年度は、バーベキューを行いました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休みだよ「スタンプラリー」	地区センターと共催で、子どもたちに施設を知ってもらうために開催しました。	8月4日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで焼き芋を食べよう	障がい児も地域のこどもたちも町内会の人と一緒に焼き芋大会を通して交流しました。	11月25日 全1回



## 平成26年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスのお楽しみ会	地区センターと共催で、子どもたちが楽しむクリスマス会を開催し、親子で楽しむリース作りに取り組みました。	12月 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性のためのパンづくり教室	男性の社会参加と仲間づくりのための交流ができました。	11月1日 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性のための和菓子づくり教室	男性の社会参加と仲間づくりのための第2弾として開催され、参加者3増えました。	3月28日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉フェスタ	担当地域内の8福祉施設と合同で、地域の方たちに施設を知ってもらえる様にお祭りを開催しました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冬の余暇支援「餅つきだよ全員集合」	西区の自立支援協議会として、障がい児者が気軽に参加できる事業として開催されました。	全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
貸室懇談会	貸室登録団体に使い方・避難経路について確認し、登録団体同士が交流できる様に行いました。	全1回

## 平成26年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚交流会	日頃ケアプラザに関わってくれているボランティアや講師に感謝するとともに、ボランティアや講師同士が交流し活動が活発になる様に行いました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚豆まき大会	地区センターと共催で、子どもたちに施設を知ってもらうために開催しました。ボランティアグループが豆まきを手伝ってくれました。	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネサロン	西区包括共催で、ケアマネジャーとしての様々な知識を得ることでスキルを高め、利用者にとって不利益にならない支援を目指し、研修会等を行いました。	年7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネぶらっと	一人または小規模事業所のケアマネジャーの悩みの解消や知識・質の向上を目的とした勉強会や民生委員との交流会を開催しました。	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚ハイツ体操クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤棚地域ハイツを含む、藤棚二丁目自治会の高齢者の参加が口コミで増え活性化が図れている。</li> <li>・体操教室で健康増進を図るとともに、自治会内の世話係に運営を任せられるようになった。</li> </ul>	毎週金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域高齢者の外出場所となった。</li> <li>・介護予防啓発事業として、体操・うた・朗読・計算ドリルなどおこない、心身共に活性化を図り、高齢による機能低下を防ぐことができた。</li> </ul>	第1月曜日 第3火曜日